

工事						
番号						

設計年度	令和7年度	防火貯水槽新設工事（大和町萩原） 消防施設整備事業 三原市 大和町萩原
施工方法	請 負	

仕 様 書

工 事 概 要	起 工 理 由
施工内容 防火貯水槽新設工 防火貯水槽設置 40m ³ N=1基 標識設置 N=1基	

特記仕様書(個別事項)

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市大和町萩原 / 防火貯水槽新設工事（大和町萩原）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・ 耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル（（一財）日本消防設備安全センター）
 - ・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。まお、運用にあたっては「広島県工事共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
 - 広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 **情報共有システムを利用した書類は、決裁データ等を整理して中間検査時・工事完成時にCD-R又はDVD-R(中間検査時1部、完成時2部)にて提出すること。ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。**
- 5 **情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。**
- 6 **検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。**
- 6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならぬ

第3節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第4節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第5節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第2章 第1節

建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-21 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「6. 再生資源利用促進計画」及び「10. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

- 2 計画の提示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項を確認の結果を記載した書面(確認結果票)を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法(平成14年法律第53号)第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法(昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という)第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者(搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者)に対し、次に掲げる事項の記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称(搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。)及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日

- 10 建設発生土の搬出元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬出元から搬出したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第3章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	8:30～17:00
施工方法・理由	作業日程については事前に監督員と調整し作業可能な日及び時間帯の調整を十分に行い安全対策をした上で施工を行うこと。また、事前に作業日程を協議し地域へ周知すること。

第2節 材料

- 1 耐震性貯水槽
設置する貯水槽は、（一財）日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。
本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計画書を監督員に提出し承諾を得ること。
本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証（（一財）日本消防設備安全センター）の原本を速やかに監督員に提出すること。
- 2 水張り検査
水張り検査を行うこと。
なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

第3節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第4節 公害対策

- 1 粉じん対策

内容	清掃作業において粉じんが飛散する場合は、粉じん防止の散水等を随時行うこと。
期間	土砂積込作業

第5節 安全対策

- 1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
工事期間中、交通誘導警備員を1(人/日)見込んでいる。
- 2 交通安全施設
夜間及び休日において、工事区域に保安灯やバリケードの設置を行う等、近隣住民への安全対策に努めること。

第6節 工事用道路

1 一般道路

使用期間

工事施工期間

使用時間

8:30～17:00

工事中・後の処置

随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修(工事前・後の写真により監督職員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第7節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書(令和7年8月 広島版)『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型(第2次基準値)以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第8節 建設副産物

1 建設発生土(搬出先)(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積))(指定処分(A))

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積)のいずれかに搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積)のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分にかかる費用(単価)は変更しない。

搬出場所

シンクコンサルタント株式会社久井町泉再資源化施設(三原市久井町泉字北之奥甲538-1)

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時堆積)への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象となる。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外(建設工事現場以外の場所)において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第9節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

第3章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2節 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

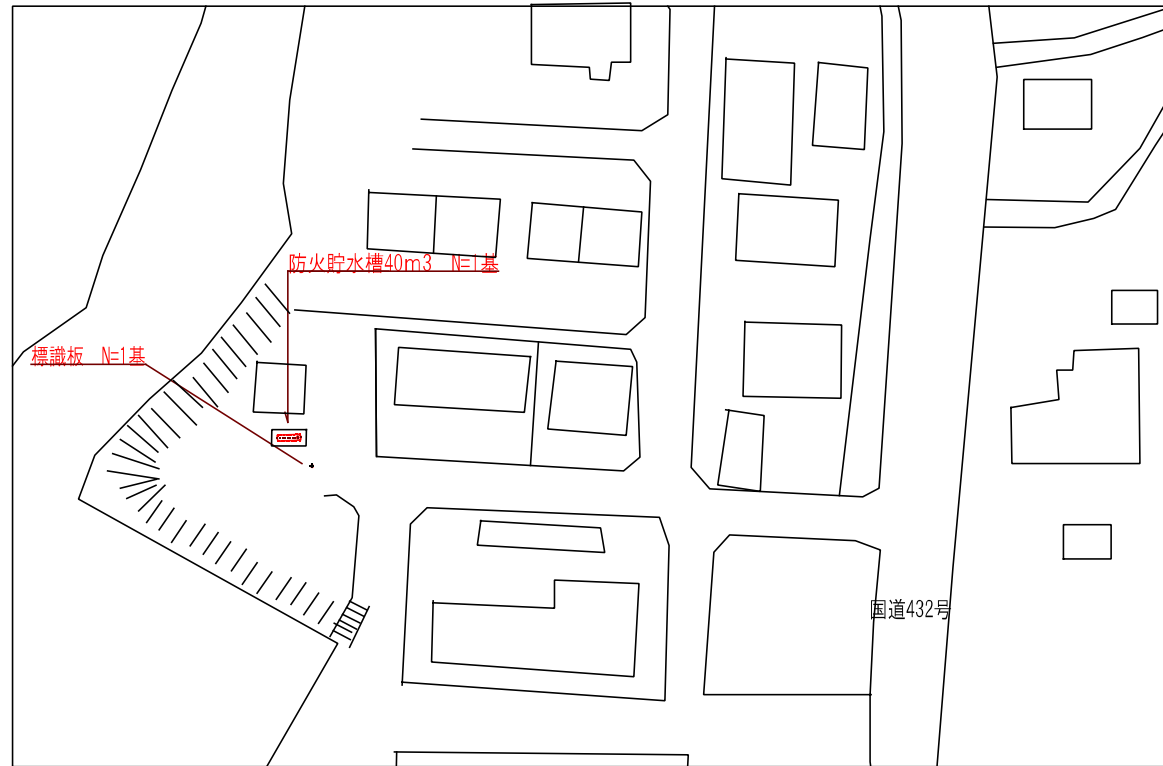
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
防火貯水槽		式		1	レベル1
防火貯水槽		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
残土処理工		式		1	レベル3
基礎工		式		1	レベル3
基礎砕石	RC-40	式		1	レベル4
基礎コンクリート	無筋・鉄筋構造物 24N	式		1	レベル4
防火貯水躯体工		式		1	レベル3
躯体工	防火貯水槽 II型 40m ³ 土被り1.0m	基		1	レベル4
防火貯水槽設置工		式		1	レベル3
設置工		式		1	レベル4
小型標識工		式		1	レベル3
標識柱	支柱 φ 60.5×2.3×3500	基		1	レベル4
標識板	φ 600	枚		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		8	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
直接工事費					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
土質試験費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

図面番号	1/1	縮尺	図示
工種	防火貯水槽新設工事 (大和町萩原)		
種別	設計図	番	1/1
工事箇所	三原市大和町萩原		
	三原市		

平面図



防火貯水槽仕様	
〔貯水槽形式〕	防火貯水槽 40m3 (一財)日本消防設備センター認定品
〔吸管投入口形式〕	φ600
〔標識板形式〕	φ600 アルミ板
〔標識柱形式〕	φ60.5×2.3×3500
〔土被り〕	1.0m

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 48 三原市(大和) 00-07. 10. 01(0)		≪凡例≫ Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
防火貯水槽	1	式			Y1E01 レベル1
防火貯水槽	1	式			Y1E0105 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010501 レベル3
床掘り 土砂	250	m3			Y1E01050102 レベル4
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	250	m3			SPK25040015 00 単第0 -0001 表
埋戻し 土砂	200	m3			Y1E01050103 レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	200	m3			SPK25040020 00 単第0 -0002 表
基面整正 土砂	30	m2			Y1E01050104 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正	30	m2			SPK25040017 00 単第0 -0003 表
残土処理工	1	式			Y1E010110 レベル3
土砂等運搬 土砂	30	m3			Y1E01011002 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)	30	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分	30	m3			Y1E01011003 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土等処分	30	m3			F000000100 00
基礎工	1	式			Y1E010503 レベル3
基礎碎石 RC-40	1	式			Y1M02060401 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	29	m2			SPK25040034 00 単第0 -0005 表
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24N	1	式			Y1E01080603 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	4	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007 表
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.19	t			SS000099 00 単第0 -0008 表
防火貯水躯体工	1	式			Y3999 レベル3
躯体工 防火貯水槽 II型 40m3 土被り1.0m	1	基			Y4999 レベル4
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費 [対象外], 現場管理費 [対象外] 一般管理費 [対象]					#0044

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防火貯水槽 Ⅱ型 40m ³ 土被り1.0m	1	式			V000000100 00 単第0 -0009 表
防火貯水槽設置工	1	式			Y3999 レベル3
設置工	1	式			Y4999 レベル4
本体据付工	1	式			V000000200 00 単第0 -0010 表
小型標識工	1	式			Y3999 レベル3
標識柱 支柱 φ60.5×2.3×3500	1	式			Y4999 レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 メッキ品 柱径 φ60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 00 単第0 -0011 表
標識板 φ600	1	枚			Y4999 レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	基			SS000223 00 単第0 -0012 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識板 Φ600 取付金具含む	1	個			F000000400 00
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3
交通誘導警備員	8	人			Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B	8	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土質試験費	1	式			YZZ06001001 レベル4
簡易支持力測定	1	個			F000000500 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

床掘り SPK25040015 単第0 -0001 表 1
 土砂 標準 土留方式無し 障害無し m3 当り
 機械構成比: 22.47% 労務構成比: 53.87% 材料構成比: 23.66% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 244.12000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014	22.47%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	53.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	23.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0010

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0002 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.29%

労務構成比: 82.13%

材料構成比: 8.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,025.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014	7.79%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5~0.6t	1.41%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5~0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.09%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	40.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67%

労務構成比:

40.44%

材料構成比:

14.89%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,575.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=28 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0014

基礎砕石

SPK25040034

単第0 -0005 表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.04%

労務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014	5.01%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,531.00000

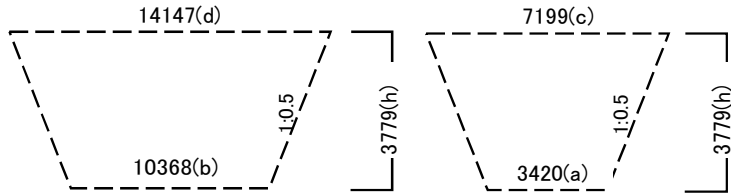
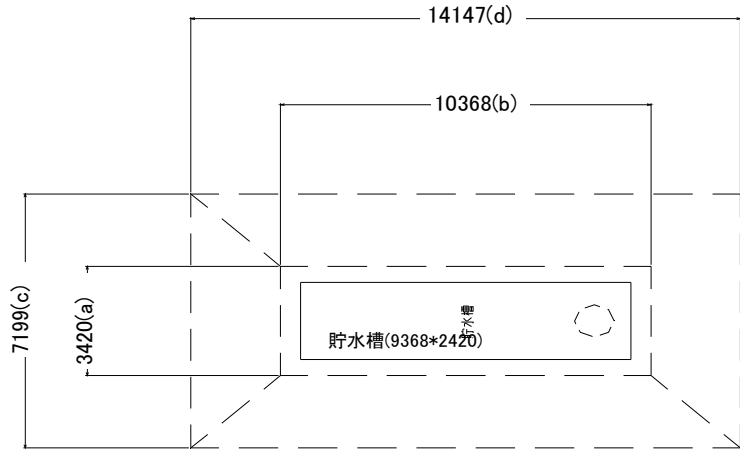
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24, スランプ12, 粗骨材20(25) W/C(55%), 種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠 SPK25040159 単第0 -0007 表
 一般型枠 鉄筋・無筋構造物 1 m2 当り
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 10,100.00000

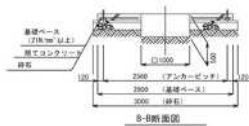
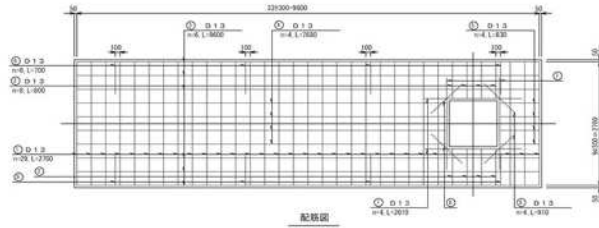
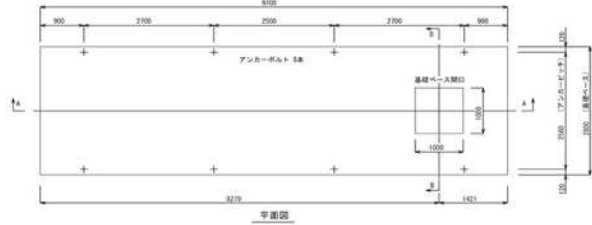
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

土工数量計算書(1)



種 別	計 算 式	単 位	数 量
【床掘底面】	$h = 3.78$ $c = 7.20$ $d = 14.15$ $a = 3.42$ $b = 10.37$		
床掘工	$V_1 = \frac{h}{6}(ad + bc + 2(ab + dc))$ 躯体短辺 2.42m 躯体長辺 9.368m 躯体高さ 2.42m ゴムシート t=0.09m 均しコンクリート t=0.05m 基礎コンクリート t=0.15m 基礎砕石 t=0.15m 土被り 1.0m	m ³	250.4
	$a = 2.42 + 0.5 + 0.5 = 3.420$ $b = 9.368 + 0.5 + 0.5 = 10.368$ $c = a + h = 4.00 + 3.77 = 7.77$ $d = b + h = 11.40 + 3.77 = 15.17$ $h = 2.42 + 0.09 + 0.05 + 0.15 + 0.15 + 1.0 = 3.78$		
	基礎と躯体の幅員差 短辺:t=0.266m 長辺:t=0.290 短辺余裕幅 0.5+0.5m 長辺余裕幅 0.5+0.5m ピット外 1.0m ピット内 0.632m ピット深さ 0.50m		
【底設ピット部】			
床掘工	$V_2 = 1.00 \times 1.00 \times (0.50 - 0.15 - 0.05 - 0.15)$	m ³	0.15
	計	m ³	250.59
【基面整正】			
基面整正	$A = 9.90 \times 3.00$	m ²	29.7
【残土処理】			
残土処理	$V = 250.59 - 197.10 / 0.9$	m ²	31.6

基礎工数量計算書(3)



種 別	計 算 式	単 位	数 量
【基礎砕石】 RC-40 (t=0.15m)	$V = (3.00 \times 9.90 - 1.00 \times 1.00 \times 1) \times 0.15$	m ³	4.31
【均しコンクリート】 コンクリート工 (t=0.05m)	$V = (3.00 \times 9.90 - 1.00 \times 1.00 \times 1) \times 0.05$	m ³	1.44
【基礎コンクリート】 コンクリート工 (無筋・バックホ (t=0.15m)	$V_1 = (2.80 \times 9.70 - 1.00 \times 1.00 \times 1) \times 0.15$ $+ 1.00 \times (1.52 \times 1.52 - 1.3 \times 1.3) \times 0.5$	m ³	3.92
【基礎型枠】 型枠工	$A = (2.80 \times 0.15 + 9.70 \times 0.15) \times 2$	m ²	3.75
【鉄筋工】 鉄筋	$A = 192.67$	kg	192.67
D13		t	0.19

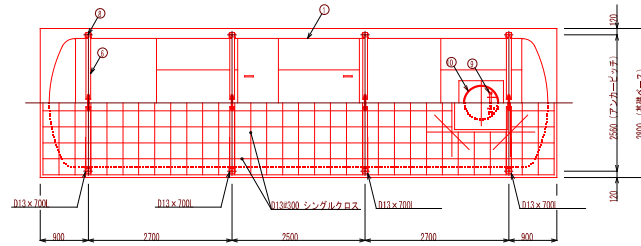
記号	径	長さ	本数	単均重量	一本当り重量	質量 (kg)	質量 (N)	備 考	
1	D13	2700	29	0.995	2.687	77.923	763.65	---	
2	D13	800	8	0.995	0.796	6.368	62.41	---	
3	D13	9900	6	0.995	9.552	57.312	561.66	---	
4	D13	7650	4	0.995	7.642	30.568	299.57	---	
5	D13	830	4	0.995	0.826	3.304	32.38	---	
6	D13	700	8	0.995	0.697	5.576	54.64	---	
7	D13	2010	4	0.995	2.000	8.000	78.40	---	
8	D13	910	4	0.995	0.905	3.620	35.48	---	
合 計 D13					192.671	kg	(1888.18	N)	
総重量					192.671	kg	(1888.18	N)	

※ D13、S295以上を使用
 ※ 鉄筋重量表は断片を考慮しない場合の重量としている。

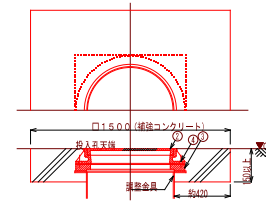
図面番号	1/3	縮尺	図示
工種	防火貯水槽新設工事 (大和町萩原)		
種別	構造一般図	番	1/1
工事箇所	三原市大和町萩原		
	三原市		

No.	名称	材質	数量	仕様	備考
1	本体	SS400	1	18×φ2400	
2	接管投入孔鉄蓋	鍍鉄	1	φ6.0.0	
3	経路リング	ゴカト	-	φ6.0.0	
4	マンホール蓋と取付木、ナット	ナット: SS400	-	M16	
5	保護ゴムシートA	ゴム	4	W120×13	固定バンド用
6	固定バンド	SS400	4		
7	保護ゴムシートB	ゴム	1式	W400×19	
8	アンカーボルト	SS400	8	M24	
9	揚子	FRP	1		全長は埋設深さにより変わる
10	調整金具	SS400	1		

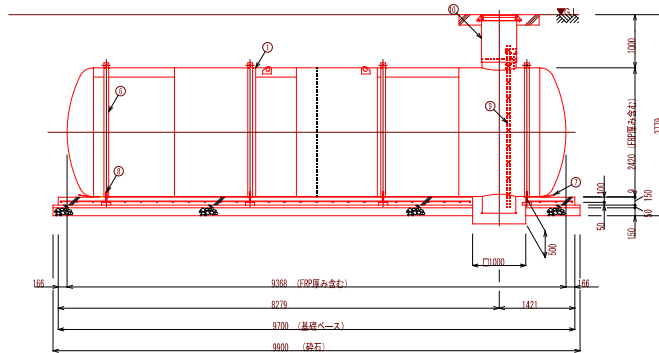
平面図



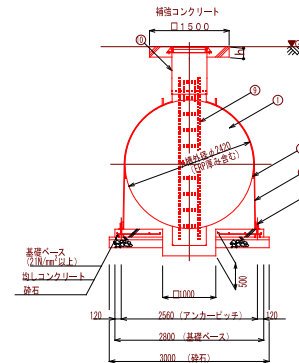
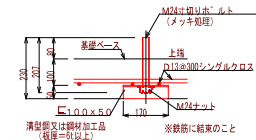
補強コンクリート断面詳細
(マンホール受け仕様 参考図)
(1/20)



断面図

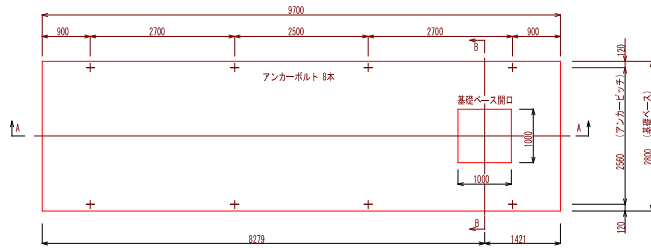


アンカーボルト詳細図
(1/10)



図面番号	2/3	縮尺	図示
工種	防火貯水槽新設工事 (大和町萩原)		
種別	基礎図	番号	1/1
工事箇所	三原市大和町萩原		
	三原市		

平面図

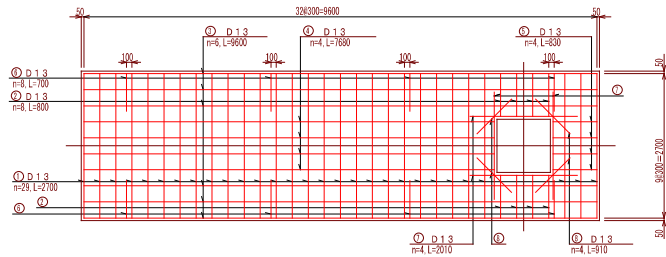


鉄筋重量表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量 (kg)	重量 (N)	備	要	
1	D13	2700	29	0.995	2.687	77.923	763.65	---	---
2	D13	800	8	0.995	0.796	6.368	62.41	---	---
3	D13	9600	6	0.995	9.552	57.312	561.66	---	---
4	D13	7880	4	0.995	7.642	30.568	299.57	---	---
5	D13	830	4	0.995	0.826	3.304	32.39	---	---
6	D13	700	8	0.995	0.697	5.576	54.64	---	---
7	D13	2010	4	0.995	2.000	8.000	78.40	---	---
8	D13	910	4	0.995	0.906	3.620	35.48	---	---
合計				D13	192.671	kg	(1888.18)	N	
総重量					192.671	kg	(1888.18)	N0	

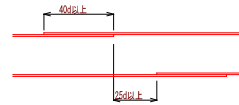
※ D13、S1025以上を標準
鉄筋重量表は標準を考慮しない場合の重量としている。

配筋図



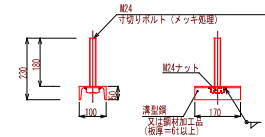
継手詳細

※継手長さは400以上、隣合う継手の位置は250以上とする。

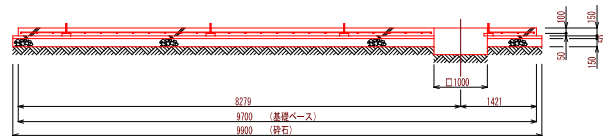


アンカーボルト詳細図(1/1.0)

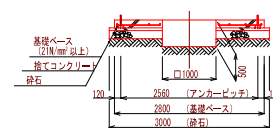
※鉄筋に結束のごと



A-A断面図

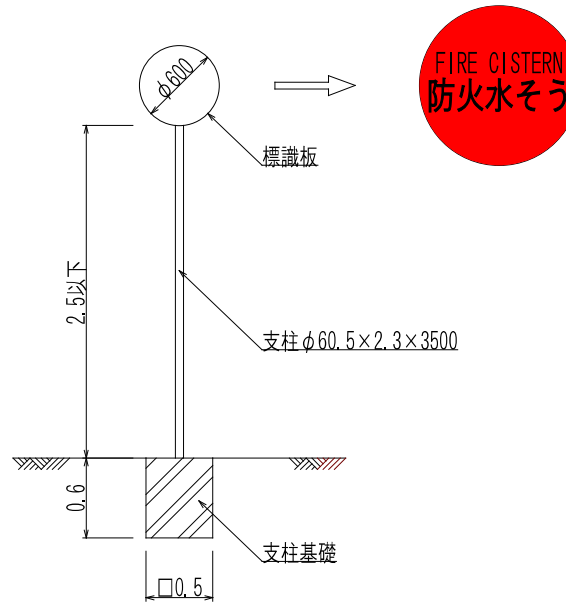


B-B断面図

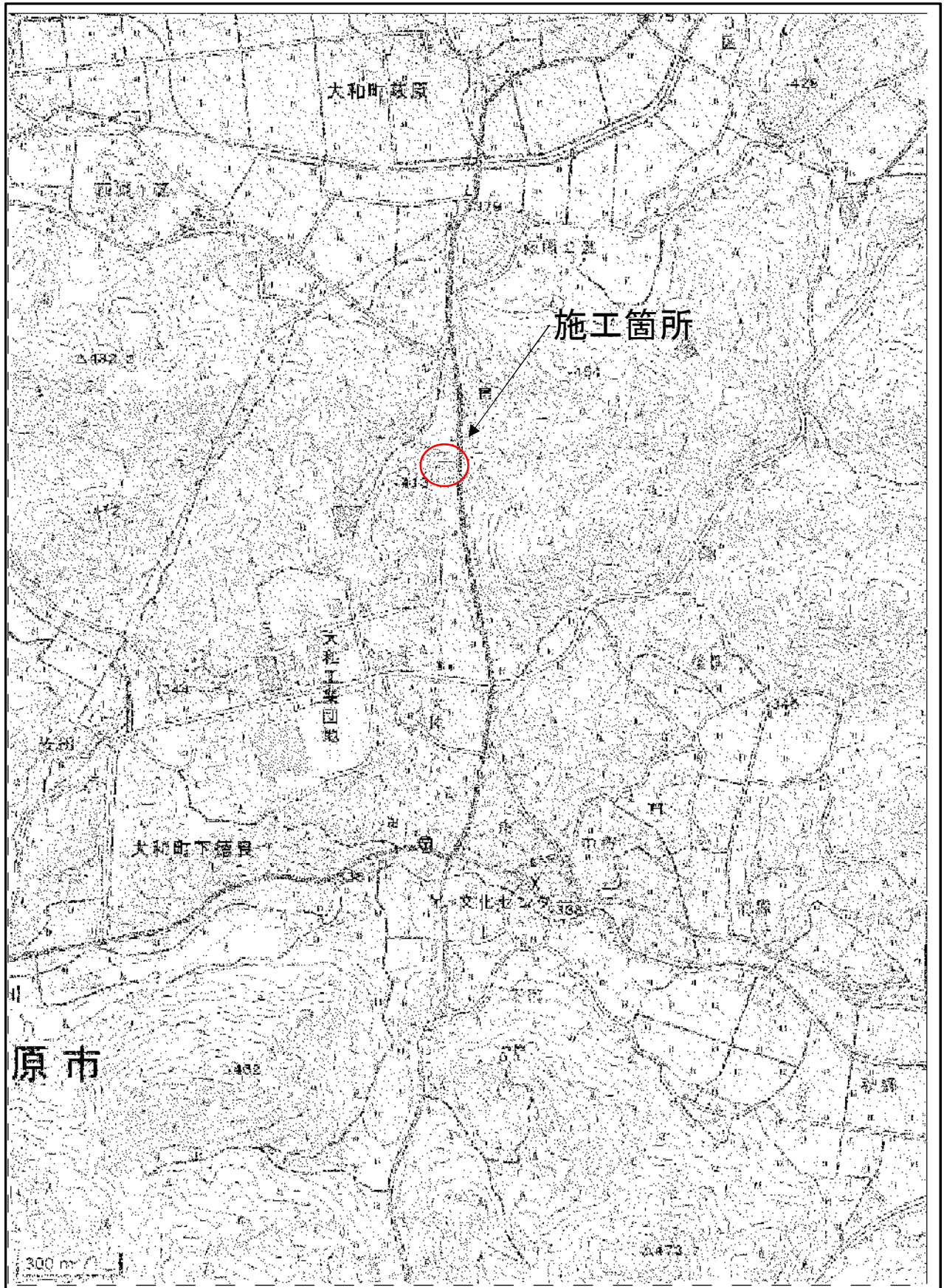


図面番号	3/3	縮尺	図示
工種	防火水槽新設工事 (大和町萩原)		
種別	標識板構造図	縮尺	1/1
工事箇所	三原市大和町萩原		
三原市			

構造図
3=1:20



位置図



この図は、国土地理院地図を使用したものである。